

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリ 事業者名: 株式会社 かんぼ生命保険 熊本支店				基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・会社の「経営理念」「経営方針」「行動指針」を明文化し、ポータルサイトに掲載している。 ・社員一人ひとりに経営理念ハンドブックを配布し、活用している。 ・事業所において、社員全体に説明を行っている。 ・社員は、会社の目指すべき方向性を見据え、その実現に向け、日々努力を行い、積極的に会社の運営に寄与している。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンスの推進のための基本的事項を定めた「コンプライアンス規程」を制定し、コンプライアンス体制を整備している。 ・企業活動に関連する法令等の解説を記載した「コンプライアンス・マニュアル」および同マニュアルの要点を解説した「コンプライアンス・ハンドブック」を作成し、その内容を周知し、共有している。 ・法令遵守に関する規程や本社のマニュアルに基づいて、取組んでいる。 ・全社員を対象とした、法令遵守に対する「コンプライアンス研修」や「e-ラーニング」を実施している。																16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・コンプライアンスの推進のための基本的事項を定めた「コンプライアンス規程」を制定し、コンプライアンス体制を整備している。 ・不正競争行為防止のための規程や本社のマニュアルに基づいて取組んでいる。 ・関係稟議については法務審査を行い、不正競争防止に取組んでいる。 ・社費の支出については、少額を除き、複数社の見積りを提示している。 ・全社員を対象とした、不正競争防止に係る「コンプライアンス研修」や「e-ラーニング」を実施している。											10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・コンプライアンスの推進を図るため、「コンプライアンス委員会」を設置している。 ・コンプライアンス委員会では、経営上のコンプライアンスに係る方針、具体的な運用、諸問題への対応などについて協議を行うとともに、コンプライアンスの推進状況などについて把握、分析することにより、法令等の遵守、不祥事の未然防止などを図っている。																16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産保護のための各種規程、手続、本社のマニュアルに基づいて取組んでいる。 ・関係稟議については、法務審査を行っている。 ・広報関係の成果物についても、他社のロゴマーク等や著作物(小説・新聞・雑誌等)の無断使用、写真等の無断掲載における肖像権の侵害等がないよう、関係部署がリーガルチェックを行っている。								8.2 8.3	9							16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護のための各種規程、手続、本社のマニュアルに基づいて取組んでいる。 ・全社員を対象とした、個人情報保護に対するコンプライアンス研修やe-ラーニングを実施している。 ・四半期に一度、個人情報の適正管理を行っているかについて、保管物点検を行っている。																16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。 (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ステークホルダーに関する各種規程、本社のマニュアルに基づいて取組んでいる。 ・お客さまの声について、お客さま支援システムに記録を行い、事業所内及び会社内でも情報共有を図っている。 ・お客さまからの声に基づき、商品開発や各種手続き等の改善に繋げている。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・会社として、「事業継続計画書(BCP文書)」を策定し、改正を行っている。 ・事業所においても、「災害時対策本部構成員・非常参集委員一覧」を作成し、人事異動等により、改訂を行っている。 ・事業所において、緊急時初動対応プランを策定している。 ・施設内において、年に1度、避難訓練を実施している。 ・施設内において、年に1度、消火訓練を実施している。										9	11		13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント防止に関する規程、本社のマニュアルに基づいて取組んでいる。 ・定期的に、全社員を対象とした人権研修を行っている。 ・会社及び事業所で、ハラスメント相談窓口を設定している。 ・全社員を対象に、ハラスメント防止に関するコンプライアンス研修、e-ラーニングを実施している。 ・会社として、働きやすい職場づくり、ダイバーシティ推進に力を入れている。 (ダイバーシティ推進の具体的内容は以下のとおり) ・女性活躍推進 ・育児や介護等の両立支援 ・障がい者雇用促進 2025年度末目標:障がい者雇用率2.5%以上 ・LGBTへの理解と対応 PRIDE指標「GOLD」を5年連続獲得				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生に関する規程、手続、本社のマニュアルに基づいて取組んでいる。 ・四半期に1度、安全衛生職場ミーティングを開催し、議事録を通して全社員に周知している。 (社員数50名未満) ・2か月に1度、産業医による職場巡視を行っている。 ・週に1度、社員による職場巡視を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員、非正規社員、シニアスタッフ)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・「ワークライフバランスガイドブック」・「管理者のための仕事と生活両立支援ハンドブック」を作成して、社内ポータルサイトに掲載を行う等により、全社員に周知している。 ・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮等、働き方改革への取組み、有給休暇の取得奨励を実施し、ワークライフバランスの推進を図っている。 ・社員1人あたり週2回のテレワークの推進を図っている。 ・環境変化に対応した人事諸制度の実現を目指している。 ・2025年度末目標:育児休業取得率男女とも100%			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・能力開発のためのe-ラーニング受講制度を取っている。 ・会社として、役職、所属部署に応じた各種研修を実施している。 ・お客さま本位のサービス提供ができる人材、会社の成長を支える人材の育成に取り組んでいる。 ・社員一人ひとりが自身のキャリアプランを考えるための仕組み(キャリアパス)の明確化、キャリア面談の実施を整備している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・事業所内で一斉に、始業時間開始後と午後3時にラジオ体操を実施している。 ・年に1度、全社員を対象としたストレスチェックを行い、ストレスの数値が一定値以上の社員については、医師の面談等、個別対応を行っている。 ・2か月に1度、保健師による面接形式での相談窓口を開いている。 ・人間ドックの受検を奨励している。 ・健康経営優良法人(経済産業省)の設定を受けている。 ・新型コロナウイルス防止対策として、マニュアルの都度現行化を図り、マスク・消毒液等を社員に配布し、感染防止体制に本社のマニュアルに基づいて取組んでいる。			3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・会社として、2025年度末までに障がい者雇用率2.5%を目指している。 ・環境整備や意識改革を通して、女性管理者比率の向上に取り組んでいる。 ・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。 ・65歳定年制の導入を図っている。 ・会社として、サービス介助士の研修を行っている。 ・女性社員の育成に関して、管理職候補を対象として、リーダーシップ開発やマネジメントスキルを付与する研修等、様々なライフイベントにおける働き方を理解するセミナーを開催し、計画的かつ継続的な育成に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	(新型コロナウイルス感染症対策) ・会社において、時差出勤の奨励や出張・会議の自粛等を明記した「新型コロナウイルス感染症に係る各種対応」を策定し、感染状況に応じて、随時改訂している。 ・テレワーク、Web会議の推進のため、社員一人に1台、専用のモバイル端末を貸与している。 ・事業所内の休憩室テーブルに仕切りとして、アクリル板を設置している。 ・定期的に、机、ドアノブ等を除菌シートで拭いている。 ・常時、窓の一部を開放し、室内の空気の入れ替えを行っている。 ・社員通用口に検温計を設置している。 ・社員へマスク・消毒用ハンドスプレーを配布し感染防止対策をしている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・地域密着の郵便局ネットワークを通じた基礎的な保障の提供を行っている。 ・郵便局ネットワークとDX推進によるデジタル接点との融合を行っている。 ・カスタマーサービスセンターや統合DB等のCX向上の基盤構築準備 ・保全・保険金請求を中心としたマイページの取扱対象手続きの拡充 ・健康応援アプリ「すこやかんぽ」を活用したサービスの提供を行っている。 ・テレワークによる働き方改革に取り組んでいる。 ・社員一人ひとりにモバイル端末を貸与 ・Teams、ZoomによるWeb会議の推進 ・AI等のツールを活用したお客さまの声、社員の声の分析を行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・2050年のカーボンニュートラルの実現を目指して、CO2排出量の削減目標を設定している。 (2030年度目標:2019年度比46%の削減) ・大型施設および車両のCO2排出量削減に取り組んでいる。 ・省エネの徹底、調達電源のグリーン化、HV車・エコカーの導入継続等 ・投資ポートフォリオのCO2の計測、分析実施、開示に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・基本的な省エネ活動を全社的に推進するため、具体的な取組みをまとめた「ガイドブック」を作成し、全社員がこのガイドブックに基づいた省エネルギーの取り組みを実施するよう取り組んでいる。 ・会社として、ESGデータブックを作成し、施設及び車両のエネルギー消費量を算出し、データを把握することで、エネルギー削減に取り組んでいる。 ・事業所としては、ドライブレージェントを通して、車両の急ブレーキ、急発進等の発生状況を確認することにより、数値が高い運転者に指導を行い、ガソリン使用量の削減に取り組んでいる。 ・事業所における月の電力(ガス)使用料の請求書内訳により、対前年比を含め使用量を一覧表にて分析し、電力使用量削減のために、以下の工夫等、事業所内周知も含めて、エネルギー削減に取り組んでいる。 ・業務に支障のないエリアではこまめに消灯 ・冷暖房の運転時間の工夫 ・使用しないオフィス機器の主電源オフを徹底 ・冷暖房の適正温度の設定							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・基本的な省エネ活動を全社的に推進するための「ガイドブック」に基づいた省エネルギーの取り組みを実施することにより、CO2排出量の削減に取り組んでいる。 ・2050年のカーボンニュートラルの実現を目指して、CO2排出量の削減目標を設定している。 (2030年度目標:2019年度比46%の削減) ・会社として、ESGデータブックを作成し、施設及び車両のCO2排出量を算出し、データを把握することで、CO2排出の削減に取り組んでいる。 ・「温室効果ガス排出量検証報告書」により、CO2排出量データの第三者認証を行っている。 ・社用車のうち普通車はHV車を使用し、CO2排出量の抑制に取り組んでいる。 ・テレマティクスシステムを通して、車両のアイドリング時間を算出し、数値が高い運転者に指導を行い、CO2排出量の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・使用済みのペットボトルを廃棄することなく、エコキャップ推進協会に寄付している。 ・森林育成への貢献活動を行っている。(貢献活動の内容は以下のとおり) ・森づくり活動への寄付などの支援活動を行っている。2020年度は、公益社団法人国土緑化推進機構の実施する「緑の募金」に寄付し、市民団体等の実施する森づくり活動などの支援に活用された。 ・以下のペーパーレス化を推進している。 ・電子払込証明書の提供による郵送停止 ・コピー用紙削減の推奨や各種事務用帳票の電子化 ・「ご契約のしおり・約款」の閲覧方法を冊子以外に、Web閲覧においても提供						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事業所として、ごみの分別に取り組んでいる。 ・プリンターで両面及び縮小印刷が可能な場合は徹底することで、コピー用紙の使用数削減に取り組んでいる。 ・その他、ペーパーレス化の主な取り組み ・電子払込証明書の提供による郵送停止 ・「ご契約のしおり・約款」の閲覧方法を冊子以外に、当社Web閲覧においても提供 ・各種事務用帳票の電子化 ・会社として、ESGデータブックを作成し、コピー用紙、保険証券や約款・しおりの紙調達量を算出し、データを把握することで、紙資源の調達量削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・洗面所に「節水にこころがけましょう」などステッカーを貼り、節水に取組み、また蛇口の水量を絞っている。 ・事業所において、汚水にごみが流れないように、注意をしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・エコ商品を積極的に取り入れている。 ・コピー用紙は再生紙を使用している。 ・グリーン購入を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●		2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。 ・カーボンニュートラルに向けた取組み (2030年度CO2削減目標:対2019年度比46%削減) ・大型施設および車両のCO2排出量削減 ・省エネの徹底、調達電源のグリーン化、HV車・エコカーの導入継続等 ・投資ポートフォリオのCO2の計測、分析実施、開示準備						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリ 事業者名: 株式会社 かんぼ生命保険 熊本支店			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・会社として、管理するリスクを分類・定義し、リスク特性に応じた管理体制や規程などを整備し、適切にリスク管理を実施している。 ・会社として、情報セキュリティ宣言に基づき、情報セキュリティ対策を実施し、情報資産の保護に努めるとともに、情報セキュリティ管理の高度化を目指している。 ・お客さまからの照会先として、専用のコールセンターを設置している。 ・状況により、お客さまからのアンケートを実施している。 ・お客さまからの声については、お客さま支援システムに登録することで、報告、共有、改善に繋がる対応を行っている。			3.9						9		12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・CX向上のために、保全・保険金請求を中心としたマイページの非対面サービスの拡充、チャットや新たなサポートサービスをマイページ上で一元的に提供するサイト構成を実現している。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・現代社会における健康増進を目的として、以下の活動を実践している。 ・ラジオ体操を積極的に普及推進するための活動 (ラジオ体操の普及推進活動は以下のとおり) ・全国の自治体を対象に、夏期巡回ラジオ体操会を実施 事業所において、開催地の選考から開催までを支援 ・全国小学校ラジオ体操コンクールを開催 事業所において、小学校への応募の普及推進を実施 ・ラジオ体操優良団体等表彰 事業所において、普及推進に貢献している県内の団体、個人を推薦、表彰に際しての支援を行っている。 ・健康応援アプリ「すこやかかんぼ」を活用したサービスの提供 ・お客さまに対し、アプリの普及推進の声かけを実施 ・高齢化社会を踏まえての「かんぼプラチナサービス」の推進 ・高齢者に優しい人材の育成 ・高齢者専用のコールセンターの設置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・エコキャップ運動により、事業所内で収集したペットボトルキャップを関係協会に提供している。 ・フードドライブに参加し、食品ロスの削減に取り組んでいる。 ・事業所で収集した使用済切手やペルマークを関連団体に提供している。 ・赤い羽根募金や生命保険協会が主催する福祉施設への寄付に賛同している。 ・事業所として、献血への協力に対し、社員への積極的な呼びかけを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災対策、危機管理体制について、規程、手続、マニュアルを作成している。 ・社員一人ひとりに、緊急事態初動対応カードを携行させ、災害時対応の詳細を提示している。 ・ハザードマップを作成し、事業所内掲示板に掲示している。 ・社屋内の避難訓練に参加し、防災時の初動体制等の指導を受けている。 ・災害時備蓄品を常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・お客さまの人生を保険の力でお守りするという社会的使命を果たすことで、サステナビリティ(持続可能性)をめぐる社会課題の解決に貢献するため、諸課題に取り組んでいる。 ・社員一人ひとりに、SDGsバッジを貸与、また、ALLYシールを配布し、SDGsへの意識付けを行っている。 ・サステナビリティに関する理解、浸透及びインナーコミュニケーションの活性化のため、月に1回、「スモールミーティング」と称し、事業所内で小規模グループに分かれ、毎回テーマを決めて、サステナビリティ勉強会を実施している。司会進行を輪番制に、また議事録を作成することで、全員が参画し、常に問題意識を持って参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供してい		●					4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。